



認定番号0000418

環境活動レポート

第41期<<H27.5~H28.4>>



目 次		ページ
	表 紙	
1	組織の概要	1
2	対象範囲	1
3	環境方針	2
4	環境目標	3
5	環境目標の実績	3
6	過去実績推移	4
7	環境活動計画 取組結果・評価・次年度取組内容	5
8	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反・訴訟等の有無	6
9	代表者による全体評価と見直しの結果	6

2016年10月5日

クニオ商産株式会社

3. 環境方針

環境方針

基本理念

クニオ商産株式会社は、包装資材・梱包資材・物流機器・及び化成品全般の販売を事業活動の柱とする総合商社として、地域の発展に貢献する企業を目指します。

方 針

当社は環境保全が事業活動における重要課題のひとつであると認識し、以下の通り行動方針を定めて環境保全活動を行います。

1. 環境活動推進の重点項目として、下記4項目については数的目標を定めて継続改善と維持を図る。
 - ① エコロジー・リサイクル商品の販売拡充に努め、商品・市場のグリーン化に寄与する。
 - ② 省資源・省エネ活動を通じて、二酸化炭素排出量を削減する。
 - ③ 取扱い商品から発生する廃棄物の削減及び資源化、リサイクルの促進をはかる。
 - ④ 節水に努力する。
2. 環境に関する法律及び条例並びに協定を遵守する。
3. 会社内外の清掃、美化運動の推進をする。
4. この方針は全従業員に教育し、周知徹底を図る。
5. この環境方針は社外の要求に応じて公表する。

制定 2004年 12月 24日
改正 2009年 10月 1日

代表取締役社長

金原隆一

4.環境目標

環境目標は、第36期実績を基準とした第40期の目標を新たな基準として設定しました。各年度目標は前年目標に0.99を乗じています。売上高は40期と同じという前提です。環境配慮商品は販売高評価に変更し、目標も80%以上と致しました。

環境目標	目標 単位	基準年	27年度目標	28年度目標	29年度目標	30年度目標	前年 目標比	
		第40期 H26.5/27.4	第41期 H27.5/28.4	第42期 H28.5/29.4	第42期 H28.5/29.4	第43期 H29.5/30.4		
①CO ₂ 総排出量	t-CO ₂	27.4	27.1	26.9	26.6	26.3	0.99	
	購入電力	t-CO ₂	7.44	7.37	7.30	7.2	7.15	0.99
	ガソリン	t-CO ₂	20.0	19.8	19.6	19.4	19.2	0.99
②廃棄物総排出量	t	2.82	2.80	2.77	2.7	2.71	0.99	
	一般廃棄物	t	0.62	0.62	0.61	0.6	0.60	0.99
	産業廃棄物	t	2.58	2.56	2.53	2.5	2.48	0.99
③水使用量	t	73.0	72.3	71.6	70.8	70.1	0.99	
④環境配慮製品	%	82.6%	82.0%	80%以上			1.01	
⑤グリーン購入	%	—	配慮	〃	〃	〃		

(注)

- 1) 購入電力の二酸化炭素実排出係数は、中部電力(24年度)の「0.516kg-CO₂/kWh」を使用した。
- 2) 環境配慮製品の定義は当社独自の判断によるもの。
- 3) グリーン購入(事務用品)は当面数値を設けず配慮して購入し、実績を把握していくこととする。

5. 環境目標の実績

(1) 当期の実績について

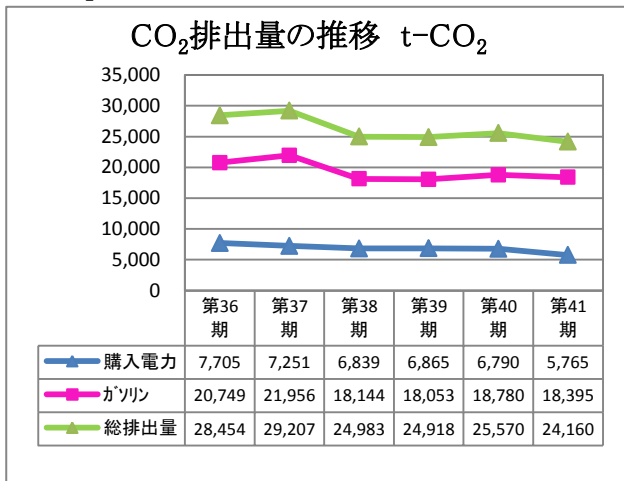
環境目標	単位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	B/A	※ 評1	※ 評2	原因分析等	
		第40期参考 H25.5/26.4	第41期 H27.5/28.4	第41期(B) H25.5/26.4					
①CO ₂ 排出量	t-CO ₂	25.6	27.1	24.2	0.892	○	○	下記理由による	
	購入電力	t-CO ₂	6.79	7.37	5.77	0.783	○	○	各使用機器の運用 条件の徹底
	ガソリン	t-CO ₂	18.8	19.8	18.4	0.931	○	○	効率の良い営業活 動の徹底
②廃棄物排出量	t	1.41	2.80	1.53	0.547	○	○	下記理由による	
	一般廃棄物	t	0.30	0.62	0.33	0.534	○	○	塵芥ごみが主
	産業廃棄物	t	1.11	2.56	1.10	0.43	○	○	仕入先に対して引 き取り要請交渉
③水使用量	t	71.0	72.3	69.0	0.955	○	○	節水の徹底	
④環境配慮製品	%	82.6	80%以上	82.0%	1.025	○	○	高水準維持	
⑤グリーン購入	%	配慮	配慮	配慮		〃	〃	事務用品対象	

※評1;単純排出量比較でB/Aが1.000以下は目標達成。但し増加目標はその逆となります。

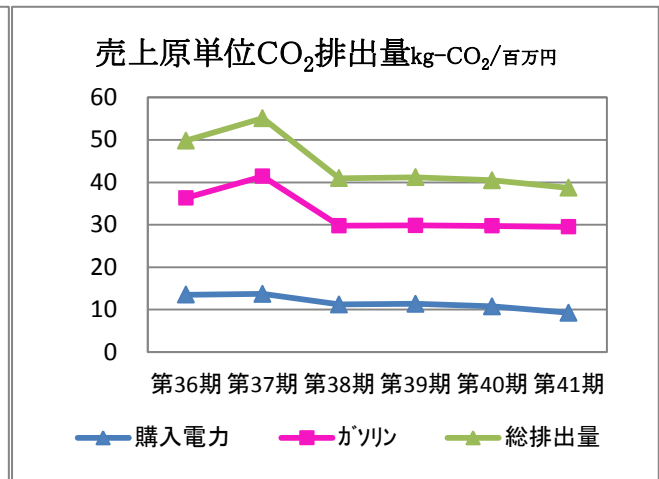
※評2;売上原単位評価で、B/Aが0.987(=当期売上/基準年売上)以下であれば目標達成○印。増加目標項目はその逆となります。

6.これ迄の環境目標の実績推移

①CO₂排出量の推移



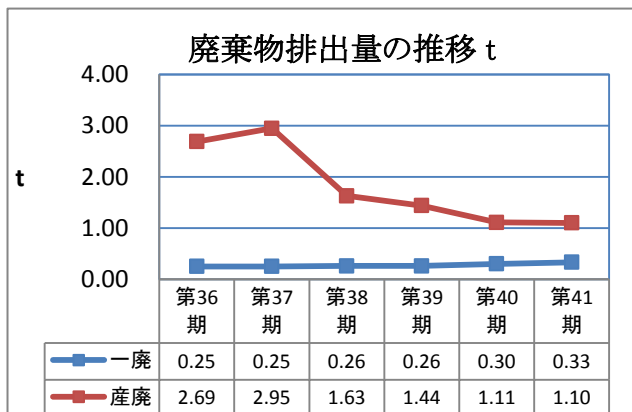
②売上原単位排出量の推移



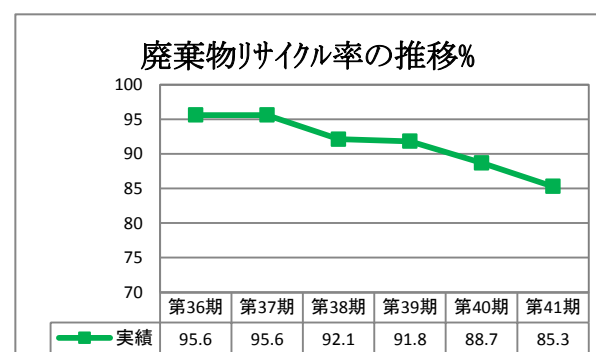
①評価

第38期よりエコ車導入に伴いガソリン使用量が削減され、電力使用についても省電力エアコン導入と運転時間をタイマー設定にして、節電に努めたことにより39～41期と順調に推移しています。

②廃棄物排出量の推移



③廃棄物リサイクル率推移



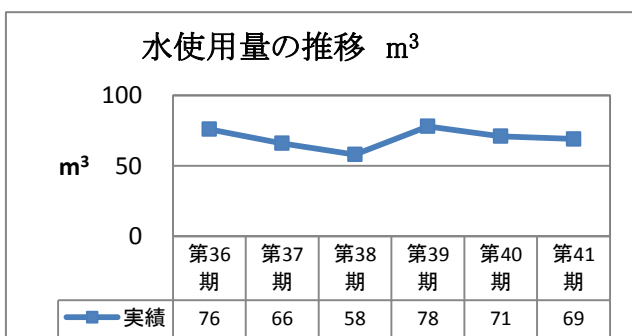
②評価

37期からは順次削減されており、最近はほぼ同程度であり、紙菅の廃棄物が無くなった事とダンボール排出物が減り、減少の影響が大きい。

③評価

産廃は100%されており、一廃は厨芥ごみのみで、リサイクル率の低下は産廃の排出量の減少の為であり、特に問題はありません。

④水使用量の削減



④評価

今年度も、エアコンから出た配水を散水に活用を行い、又社用車の洗車についてもGSでの簡単な洗車を実施することにより減少となりました。

8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、違反はありません。
また関係機関及び利害関係者からの違反、訴訟等も、過去3年間ありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1) 見直しに関連する取組状況について

No	項目	評価・コメント等
1	エコアクション21文書、記録等	毎年、少しずつ精度が上がっています。
2	環境目標及び目標達成状況	CO2削減目標、新車への更新に依り、向上している。
3	環境活動計画及び取組実施状況	活動レポート内容の通りの取り組みでした。
4	環境関連法規要求一覧及び遵守事項	記載通りです。
5	外部コミュニケーション・対応記録	苦情等も一切ありません。
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	問題点もなく、是正、予防措置もありません。
7	取引先、業界、関係行政機関からの情報	今回も問題となる項目はなし。

環境管理責任者 伊東 徳明

2.全体評価及び見直し指示について

1) 全体評価について

毎年厳しい環境は変わりませんが、社員一同、力を合わせて努力している。
またEA21に基づいて得た営業力を生かしながら、地域と共に発展している
事も評価しています。

平成 28年 10月 3日 代表取締役社長 金原 隆一

2) 見直し指示について

下表の通り、まとめました。

No	見直し項目	変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境方針	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
2	環境目標・計画	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
3	環境活動計画・取組項目	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
4	環境に関する組織	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
5	その他のシステム要素	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
6	その他(外部への対応))	有 <input checked="" type="radio"/> 無	

2016年10月3日
環境管理責任者
代表取締役社長 金原 隆一